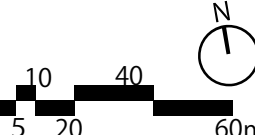
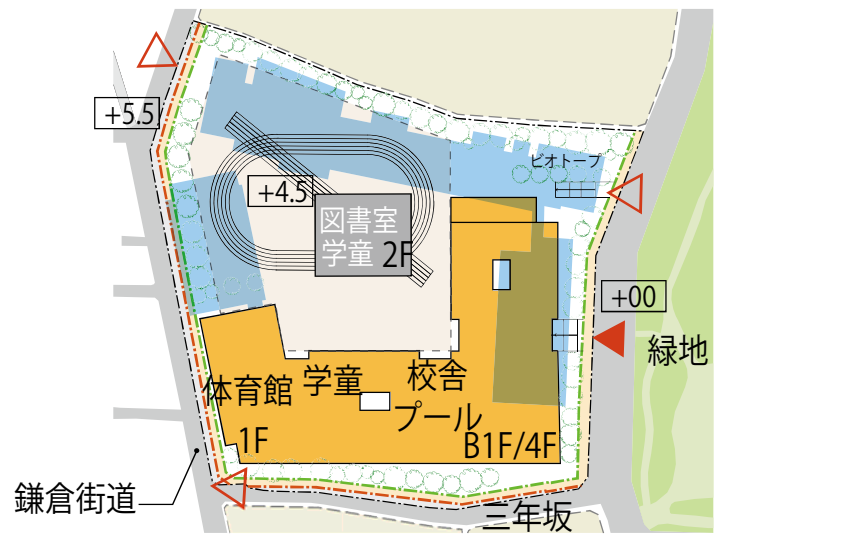
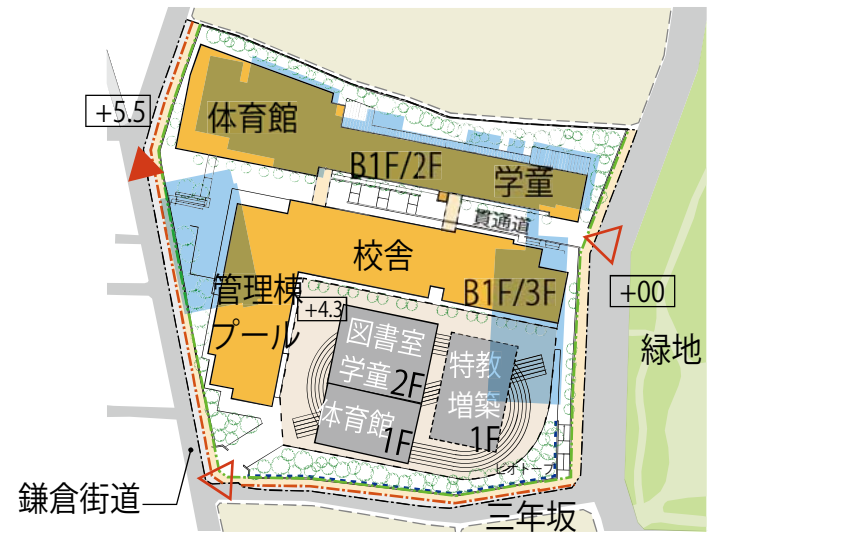
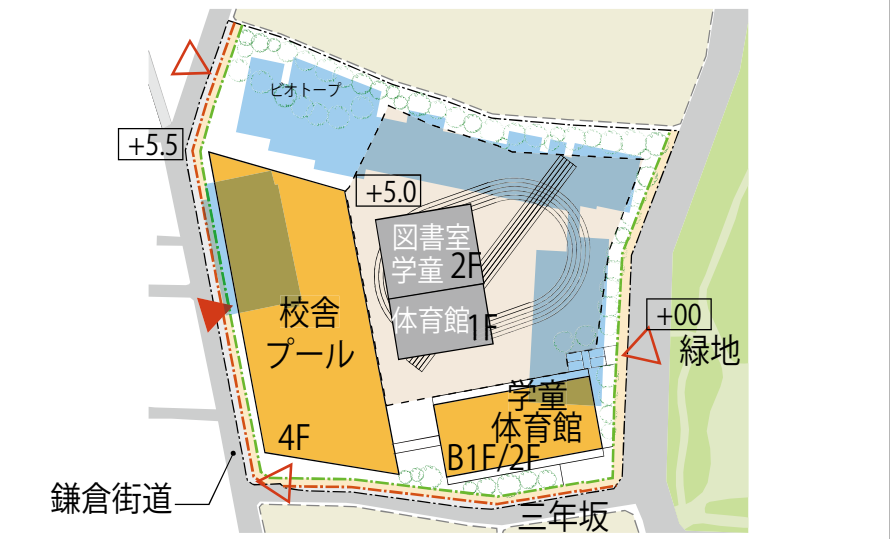


比較表

校舎配置検討(案)

施設構成	校舎を南東側に、校庭を北西側に配置する案 A'	2棟の校舎を北側に、校庭を南東側に配置する案 C	校舎を西・南側に、校庭を北東側に配置する案 D
<p>施設構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎 (青) 仮設校舎 (灰) 新校舎 (黄) 主な出入口 (赤三角) 出入口 (赤三角) +00 東側道路を起点とした概略高低差 (m) 			
校舎環境 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)	<p>普通教室を東・南に向け、中央に図書室を設けた施設構成。児童の見守りに必要な職員室、保健室等を校庭に面して計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主出入口：緑地側 サブ出入口：鎌倉街道側 教室の配置：東・南にむけた配置 管理諸室の配置：校庭(西)に向けた配置 地域開放のしやすさ：鎌倉街道側に体育館・学童・地域開放をまとめてゾーニング 	<p>南側校舎は教室・管理諸室を設け小学校機能を集約し北側校舎には学童・地域開放施設を設け明確なゾーニングを行った計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主出入口：鎌倉街道側 サブ出入口：緑地側 教室の配置：南に向けた配置 管理諸室の配置：校庭(東)に向けた配置 地域開放のしやすさ：北側に体育館・学童・地域開放をまとめてゾーニング 	<p>校庭と緑地に面した、開放的な教室配置と学童ゾーンを独立棟とし効率的な学校運営に配慮した計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主出入口：鎌倉街道側 サブ出入口：緑地側 教室の配置：東に向けた配置 管理諸室の配置：校庭(東)に向けた配置 地域開放のしやすさ：南東側に体育館・学童・地域開放を別棟にまとめてゾーニング
校庭環境 (Ⅰ、Ⅱ)	<p>植栽除いた校庭面積約 3,400 m^{※1}</p> <ul style="list-style-type: none"> 午前中は影になる範囲が多い。 ビオトープと校庭が隣接し、緑地に面する。 	<p>植栽除いた校庭面積約 2,900 m^{※1}</p> <ul style="list-style-type: none"> 影になる範囲が少ない。 ビオトープと校庭が隣接する。 	<p>植栽除いた校庭面積約 3,150 m^{※1}</p> <ul style="list-style-type: none"> 影になる範囲が多い。 ビオトープと校庭が隣接する。
周辺環境との関わり(Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> 校舎から緑地までのアプローチがしやすい。 緑地側からの主出入口となり登下校の安全性が向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭と緑地が連続した空間となる。 東西どちらからも校舎にアクセスしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭と緑地が連続した空間となる。 鎌倉街道側が主出入口のため登下校時の安全性は A' 案に比べ低い。
近隣住宅への影響 (Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> 校舎による日影の影響：北側近隣への影響が大きく低減する。西側近隣への影響も現況よりも一部低減する。 校庭からの音・ほこり：北・西側近隣に影響あり。 プライバシーへの配慮：南側近隣への視線配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎による日影の影響：北側近隣への影響が低減する。西側近隣への影響は現況に近い。 校庭からの音・ほこり：南側近隣に影響あり。 プライバシーへの配慮：北側・西側近隣への視線配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎による日影の影響：北側近隣への影響が大きく低減する。西側近隣への影響は大きくなる。 校庭からの音・ほこり：北側近隣に影響あり。 プライバシーへの配慮：南・西側近隣への視線配慮が必要。
仮設工事環境 (Ⅰ、Ⅱ)	<p>既存校舎を使用しながら新校舎・学童を建設</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要仮設校舎：図書室・学童室、防災倉庫等 仮設期間が短く、児童への影響が小さい。 仮設期間中、既存校舎出入口と建設工事エリアの離隔を確保できる。 	<p>既存校舎を使用しながら先に新校舎、後で体育館・学童・特教を建設</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要仮設校舎：図書室・学童室、体育館・防災倉庫、各教科特別教室等 仮設期間が長く、児童への影響が大きい。 既存校舎と仮設校舎の間で建設工事を行う為、児童の行き来に課題がある。 	<p>既存校舎を使用しながら新校舎・体育館・学童を建設</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要仮設校舎：図書室・学童室、体育館・防災倉庫等 仮設期間が短く、児童への影響が小さい。 仮設期間中、既存校舎出入口と建設工事エリアが近接している。
工事STEP	<ol style="list-style-type: none"> 学童・図書室、防災倉庫等の仮設建物の建設 プール棟解体 新校舎建設・引越し 既存校舎・体育館解体 外構整備 <p>約 4 年 7 か月 ※2</p>	<ol style="list-style-type: none"> 学童・図書室、体育館・防災倉庫等の仮設建物の建設 プール棟、既存体育館解体 新校舎建設・引越し 仮設の特別教室増築 既存校舎解体、体育館 / 学童 / 特別教室建設 外構整備 <p>約 5 年 7 か月 ※2</p>	<ol style="list-style-type: none"> 学童・図書室、体育館・防災倉庫等の仮設建物の建設 プール棟、既存体育館解体 新校舎・新体育館棟建設 引越し 既存校舎解体 外構整備 <p>約 4 年 9 か月 ※2</p>
コスト	<p>約 46 億 仮設建物が少なく、総コストが低い。 ※3</p>	<p>約 49 億 仮設建物が多く、工期も長い為、総コストが高い。 ※3</p>	<p>約 48 億 仮設建物は A' 案と同じだが、擁壁の工事費がかかる。 ※3</p>
総評	<p>⇒広めの校庭、吹抜による豊かな空間性や緑地との関わりのある校舎となるが、校庭に落ちる影が多いことが課題。工期が短くコストが低い。</p>	<p>⇒校庭に面する南向き教室で見晴らしがよく、地域利用室の独立性が高い校舎となる。校庭が狭いことが課題。工期が長く、コストが高い。</p>	<p>⇒教室・管理諸室とも緑地向きで見晴らしがよいが、周辺環境との関わりは少ない校舎となる。校庭と近隣への影の影響が大きいことが課題。工期やコストは共に中間となる。</p>

() 内の数字はビジョンを示します。 ◎等の評価については、各案の相対評価です。

※1 新築時の緑化基準によって面積の変動の可能性があります。 ※2 工期は計画等により、変わる可能性があります。 ※3 総工事費は、計画及び物価上昇等により変わる可能性があります。